



(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平8-503381

(43)公表日 平成8年(1996)4月16日

(51)Int.Cl.\*  
A 61 B 17/38識別記号  
7507-4C

F I

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 34 頁)

(21)出願番号	特願平5-508741
(36) (22)出願日	平成4年(1992)11月5日
(35)翻訳文提出日	平成6年(1994)4月28日
(36)国際出願番号	PCT/US92/09555
(37)国際公開番号	WO93/08755
(37)国際公開日	平成5年(1993)5月19日
(31)優先権主張番号	07/790,578
(32)優先日	1991年11月8日
(33)優先権主張国	米国(US)
(31)指定国	EP(AT, BE, CH, DE, DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M C, NL, SE), AU, CA, JP

(71)出願人	イーピー テクノロジーズ, インコーポレ イテッド アメリカ合衆国 カリフォルニア 94086, サンベイル, ボトレス アベニュー 350
(72)発明者	エドワーズ, スチュワート ディー, アメリカ合衆国 カリフォルニア 94021, ロス アルトス, オースティン アベニュー 1681
(72)発明者	スター, ロジャー エイ, アメリカ合衆国 カリフォルニア 95014, カバーティーン, バロ ビスター ロード 10418
(74)代理人	弁理士 山本 秀策

(54)【発明の名称】 絶縁された温度感知素子を有する切削電極

## (57)【要約】

切削電極(16)は、切削されるべき組織の温度を測定する温度感知素子(94)を有している。温度感知素子(94)と電極(16)との間の熱エネルギーの移動を遮断する。従って、温度感知素子は電極(16)の周囲のサーマルマスによって影響されずに温度を測定する。

